

【ビジネスセミナー】 日UAE農業セミナーの開催(ドバイ)

開催日: 令和5年7月5日

場 所: Wasl Experience Center(ハイブリット形式)

主催(共催): 在ドバイ日本国総領事館、UAE気候変動環境省、現地企業Wasl Group、
農林水産省、JETROドバイ事務所

参加企業・自治体: 農業等でUAE進出に関心のある日系企業、
地方公共団体、研究機関、現地農業・食品企業

在ドバイ日本国総領事館

【背景】

- アラブ首長国連邦(UAE)では、国家主要政策として食料自給率向上と食料安全保障の確保に取り組んでおり、高い技術を有する日系企業との農業協力への関心が高まっている。UAE政府がドバイ首長国に建設中の「Food Tech Valley」は、農業・食品、漁業を対象とした経済特区であり、2025年の稼働を目指している。研究開発、生産、物流、販売・輸出まで農業・食品関連産業が集積するハブとなり、UAEのみならず中東全域での供給を視野に入れた大規模プロジェクトであることから、UAEでの農業研究、作物生産、及び食品加工等に関心のある者、並びに農業や食品に関連した技術をUAEに展開したい企業等を対象とした。
- まずはお互いの国の農業政策を知ってもらうこと、日系企業にはFood Tech Valleyの取り組みを知ってもらうきっかけになるようセミナーを開催した。

【概要】

- ハイブリット形式で開催し、当館、UAE気候変動環境省、JETROドバイ事務所、当地日系企業や現地企業は対面、農水省や日本にいる農業・食品企業等はオンラインで参加した。対面参加者については、セミナー後にネットワーキングの場を設けた。
- 農水省審議官から挨拶、気候変動環境省次官補から挨拶があった後、農水省から「みどりの食料システム戦略」、気候変動環境省から「食料安全保障戦略」、Wasl Geoupから「Food Tech Valley」、JETROドバイ事務所から「海外展開支援サービス」について説明があった。総勢150名以上参加し、UAEのビジネス・投資環境に関する理解を深め、人脈を構築し、また、相互のビジネス関係拡大に向けた機運を醸成するなど、日UAE経済関係強化に有益であり日本企業にも好評であった。
- 日UAE包括的・戦略的パートナーシップ・イニシアティブ(CSPI)における農業・気候変動分野の小委員会では、二国間協力の取り組み一つとしてインプットができた。
- セミナー後、日本からの農業・水産・食品企業からの問合せで気候変動環境省やWasl Groupとの意見交換の場を設けることが増え、UAEでの農水業ビジネスへの関心が高まっている。

